

第二期産業振興計画進捗管理まとめ

凡例

市・関係機関の主観評価

41施策中 ○30 △1 □7 ×1 ◎2 -0 → **85 (76) 点** / 100点

() 内は令和3年度末時点
評価指数

$$100\text{点} \div 41\text{施策} \doteq 2.44\text{点}$$

○または◎ . . . 2.44点

△ 2.44点 × 2 / 3

この場合は1.63点

□ 2.44点 × 1 / 3

この場合は0.81点

×または- . . . 0点

$$2.44 \times 32 (78) + 1.63 \times 1 (1.63) + 0.81 \times 7 (5.67) = 85.38 \\ \doteq 85\text{点}$$

目標 1 武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興

基本施策（1）武蔵野市特性を活かした産業振興

基本施策（2）都市観光の推進

市・関係機関の主観評価

41施策中 ○30 △1 □7 ×1 ◎2 -0 → **85 (76) 点 / 100点**

【良い点】

市制施行75周年に合わせて、プロモーションに資する市勢要覧とWEBサイトを構築した（市）

吉祥寺フリーWi-Fiを用いた来街動機等調査2022年分を3月20日に公表（関）

吉祥寺エリアマップ、三鷹北口・武蔵境エリアマップの電子化とともに、日本語版・英語版を備えてインバウンドニーズにも応える内容とした（関）

CO+LAB MUSASHINOを試行的に開始し、連携による商品提供を行った（市・関）

【課題】

CO+LAB MUSASHINOの本格実施に向けて、今後のプラットフォームとしてのあり方を整理・検討しつつ進めていく必要がある（市）

東京都地域資源発掘型事業における体験企画がコロナ禍の影響で実施できなかったため、状況を見つつ、今後進めていく必要がある（市）

駅周辺における新規産業の誘致・育成については、ビジョン等を踏まえた働きかけがどの程度できるか課題である（市）



目標 2 地域生活を支え合う産業振興

基本施策（1）生活を支えるサービスへの維持発展

基本施策（2）市民ニーズ等に対応したサービスの充実

市・関係機関の主観評価

30施策中 ○23 △1 □5 ×0 ◎0 -1 → **84点 (79)** / 100点

【良い点】

各種イベントにおけるむさしのプレミアム商品を販売したほか、新たに認定した商品を取り入れた新手帳を制作・配布した（関）



商店会活性出店支援金については、第三期産業振興計画においては、コロナ対応の施策としてではなく、空き店舗対策や創業者の支援策として期待できる（市）



ふるさと応援寄附では、ふるさと納税払いチョイス Pay の導入や、新たな返礼品、コト消費を促す返礼品の開拓などを積極的に行った（市）

【課題】

担い手不足などにより商店会の継続が難しくなり、解散を余儀なくされるところがあるため、今後、市としてそれぞれの地区の課題を共有しつつ支援を進める必要がある（市）

買い物支援については、商業サービスとは異なり福祉的なニーズを把握したうえで再検討する必要がある（市）

商店会の加入者確保の取り組みについて、考えていく必要がある（市・関）

民間サービスを活用した子育て支援策について、産業振興分野としてどのように連携するか課題がある（市）

目標3 都市の活力を担う産業振興

基本施策（1）3 駅圏ごとの特性に応じたまちづくり

基本施策（2）産業基盤の安定化の推進

市・関係機関の主観評価

36施策中 ○25 △3 □4 ×1 ◎3 -0 → **87** (79) 点 / 100点

【良い点】

賑わい創出として、南口暫定広場を活用したベンチ設置の事業などを行った（関）

市民・来街者等の安全のためのパトロールや防災面での訓練などを強化・継続して実施している（市・関）

創業・事業承継に係るサポートを継続して実施し、希望者からの積極的な活用がなされている（市・関）



【課題】

NEXT吉祥寺や三鷹駅北口街づくりビジョンなど、まちづくりに関する計画との整合性を図りつつ、施策を検討していく必要がある（市）

市内産業の定期的な調査については、令和4年度に行った計画策定に係る調査実施も踏まえて、今後のあり方を検討しつつ、定期的な調査として整備していく必要がある（市）

多様な方の創業支援・事業承継の支援については、関係機関等と連携しつつ、強化していく必要がある（市）

目標 4 情報化や国際化に対応した産業振興

基本施策 (1) 情報化への対応

基本施策 (2) 国際化への対応

市・関係機関の主観評価

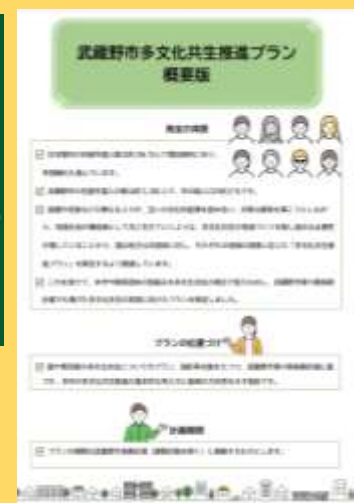
11施策中 ○7 △0 □3 ×1 ◎0 -0 → **73 (76) 点** / 100点

【良い点】

キャッシュレス化に関する関連情報をWEBサイトを通じて情報発信を行っているほか、企画提案型事業を活用して、デジタルスタンプラリー事業を実施した (関)

多文化共生プランを策定し、取組を進めている (市)

ICT、外国人労働者に関する情報が市に寄せられた場合は、必要に応じて関連組織に展開をした (市)



【課題】

サイバーセキュリティ対策については、市安全対策課などと情報交換をしつつ、商工会議所とも連携をし、取り組む必要がある。

外国人労働者の相談窓口については、相談のニーズ把握も行いながら、検討を行う必要があるが、国際交流協会などで行う市民相談などもあることから、そうした既存事業の活用も含めて検討する必要がある (市・関係)

目標5 武蔵野市内で働く多様な人材による産業振興

基本施策（1）新しい働き方への対応

基本施策（2）人材の育成と対応

市・関係機関の主観評価

20施策中 ○18 △0 □2 ×0 ◎0 -0 → **93** (87) 点 / 100点

【良い点】

関係機関（ハローワークや、しごとセンター多摩等）との連携により、就労支援事業の周知に努めた（市）

商店会と市内大学ボランティアの連携により「女子大通り提灯&MAP」が作成できた（関）

障害者就労支援センターとも連携した実習のほか、庁内における障害者雇用の推進を引き続き図った（市）



【課題】

多様な人材（女性・高齢者・障害者・若者など）の雇用・就労支援については、関係機関からの情報提供のみならず、市・関連団体における取り組みの内容を引き続き充実させるための検討が必要である（市・関）

大学生の活躍の場づくりは、第三期計画に向けて、深化させていく必要がある（市）

ワークライフバランスや女性の就労に関する事業については、男女平等推進センターとも連携し、取り組んでいく必要がある（市）